



まごころ新聞

第5号

株式会社 真心 広報部

2015年 12月10日発行

経営理念「一人ひとりにあった対応」とは

施設長 秋吉ふさよ

前回、経営理念の一節

「ご入居者様の生きてきた歴史の尊重」

について記しましたが、今回はその続きの

一人ひとりにあった対応が出来る様に努め・・・

についてふれたいと思います。

組織を管理しようとするとき一番簡単なのは、規則を決め、その型通りに管理していくことです。

戦後の成長期にあつては、学校も企業も先進国にならえとばかりに総動員で、経済大国を目指し、規則規律を尊び、現在の豊かさを手にしました。

しかし、かつてにない高齢化社会に突入し、私は当施設はもちろん、あらゆるシーンにおいて物心両面ともに

「一人ひとりにあった対応」

が必要だと考え、方針に盛り込みました。

例えば、体の面では、歩くのが困難な人、食事がままならない人、など様々です。これを一律にするには無理があります。

それだけではありません。

忘れてならないのは、心の面においてです。

優しく問いかけて出来る人、

厳しい言葉に弱い人、

積極的な考えの人、

慎重な人、

様々です。介護スタッフは

このような面も配慮して

介護に携わらなければならないと考えています。

一人ひとりに合わせるというのは簡単な事ではありません。

ません。

しかし、それを実現してこそ、ご入居者様の笑顔に通じると考えています。

まごころも三年経って、

今年も沢山の「出会い」

を頂きました。

特に今年は、利用者様に

「愛と笑い」

をテーマにしてきた一年でした。

この小さな施設を発信源に、地球に愛と笑いを満たして行けるように、新しい年もスタッフ一同取り組んで行きたいと思えます。

今年も、まごころを支えて頂いたボランティアの方々・講師の先生方・利用者様ご家族・業者様・

一年の感謝とお礼を込めて言いたいと思えます。

本当に有り難うございました。

来年もどうぞよろしくお願致します。



交流会

今回は十月の誕生日会に合わせて園児が来てくれました。

歌と紙芝居を一緒に楽しみました。

紙芝居は保育園側が用意してくださ

り、皆さん真剣に聞いていました。

